

第 1527 回 2 月 第一通常例会

令和 6 年 2 月 13 日（火）に金沢ニューグランドホテルで、第 1527 回通常例会が開催されました。



細川会長の挨拶では、令和 6 年能登半島地震に対する支援金が、金沢東ライオンズクラブに日本の各ライオンズクラブから約 160 万円集まったとの報告がありました。令和 6 年能登半島地震発生から、1 か月以上が経過し、その被害が約 240 名の死者、住宅損傷が 59,000 戸にのぼることが

判明しました。地震の被害では、今から約 2 年前に発生したトルコ大地震は、マグニチュード 7.8 で 53,000 人が犠牲となり、住宅被害は約 39 万戸にのぼりました。住宅被害が多かったのは、その工法に違いがあります。トルコでは、レンガ積みの組石工法の住宅が多く、構造的には一番弱い工法で、被害拡大につながったといえます。

金沢市にも四校記念館などが組石工法ですが、耐震補強がなされています。これらの重要文化財は昔の構造工法にこだわっていますが、見えるところは（外観）は従来通りで、中身はより耐震性のある新しい工法ではないかと思えます。

建築の専門家として、建築基準法の耐震への変遷を申し上げますと、1981 年 5 月 31 日までに確認申請を受けた建物は新耐震の基準の建物で、それ以前は旧耐震です。新耐震では、S 造、RC 造が特に厳しくなりました。2000 年には更に耐震が強化され、木造では、地盤調査による地盤改良、筋交い固定部分の金物指定、耐力壁の配置バランスなどが強化されました。さらに、2012 年には長期優良住宅が指定され耐震性等級 3 以上の他、バリアフリー、省エネ性能等が強化されました。今後も耐震への強化がなされると思いますが、皆様も、ご自分の住宅の耐震性強化を行うことで、より安心して生活できると思えますと述べられました。



MFJ 1000 ドルメルビン・ジョーンズ・フェロー レベルピン授与がおこなわれました。授与されたのは、小川榮一 L・松尾靖 L・細川外茂治 L・村上博文 L です。

続いて、LCIF キャンペーン表彰を LCIF 委員長の松尾靖 L からご報告して頂きました。2018 年から 2022 年の



間、資金獲得キャンペーンが行われ、全世界のライオンズクラブで 32,500 万ドルの資金を獲得したそうです。日本のライオンズクラブは、2,748 クラブあり、その内の 1,320 クラブが、会 1 人当たり 500 ドルを超えた寄付が集まったそうです。会員 1 人あたり 500 ドル以上のクラブをモデルクラブといい、700 ドル以上のクラブをスーパーモデルクラブと呼ばれるそうです。金沢東ライオンズクラブはモデルクラブで、その表彰として楯が授与されたとご報告して頂きました。



次期役員候補者を会員副委員長の桑島敏彰 L から発表して頂きました。1 月 23 日に次期役員指名委員会が行われ、次期役員候補者が決まりました。次回の例会で投票が行われます。

各種報告 PR 事項では、社会奉仕委員長の東龍盛 L から献血街頭キャンペーンの報告がありました。幹事の多田浩人 L からは、救援物資仕分け作業とリサイクルメガネ受け渡し式の報告がありました。



2 月にお誕生日ならびに結婚記念日を迎えられた方々のご紹介がありました。お誕生日を迎えられた会員及び LL に花が贈呈されました。

本日のメンバースピーチは、桑島敏彰 L から「アフリカの思い出」と題してスピーチして頂きました。桑島敏彰 L は、商社マン時代にアフリカのザンビアに赴任していて、食生活・運転免許の取得・病気について、たいへんな経験を面白く講演してくださいました。そこに滞在して特に感じたことは、バランスの取れた経済発展が必要であること、発展途上国では政治が経済に及ぼす影響が多であること、どんな出来事にも経緯があること、またその出来事的前提自体が崩れてしまうことがあるということ、最後に「正解」は一つではないし、正解がないことだってあり得ることを感じたとしてスピーチしていただきました。

最後にテールツイスターの永野琢也 L が登場し、ドネーションの発表をさせていただいて第 1527 回通常例会は終了しました。
(記事：L.中村吉興計画委員長)